

株主の皆様へ

第103期
報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

 山陽特殊製鋼株式会社

証券コード | 5481



代表取締役社長
武田 安夫

Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト	3
セグメント情報	4
連結財務諸表	5
トピックス	7
会社・株式情報	9

(注)本報告書に記載している業績予想につきましては、策定時点において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第103期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の営業の概況等をご報告申し上げます。

営業の概況

当期のわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、企業収益や雇用環境の改善がみられましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響や円安による物価上昇などにより個人消費が低迷するなど、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。一方、海外経済は、新興国の一部に弱さがみられるものの、米国を中心に緩やかな拡大を続けました。

特殊鋼業界におきましては、自動車分野向け等を中心に、需要は総じて堅調に推移いたしました。このような中、当社グループの当期の売上高は、販売数量が前期に比べ増加したことなどにより、前期比99億7百万円増の1,714億95百万円となりました。経常利益は、原燃料価格の上昇はありましたものの、販売数量の増加、固定費の減少、変動費コストダウンの実施

や円安による為替差益の計上などにより、前期比29億85百万円増の97億35百万円となりました。当期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより、前期比24億81百万円増の65億47百万円となりました。

この結果、当期のROE（自己資本利益率）は6.1%（前期は4.1%）となりました。

なお、当期の配当につきましては、当期純利益が65億47百万円となったため、基本方針に則り年間では1株当たり10円とさせていただくことといたしました。中間配当金を1株当たり3円実施させていただいておりますので、期末配当金は1株当たり7円となります。

次期の見通し

今後につきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響が一巡することや円安・原油安に伴うプラス効果などから景気回復が期待される一方で、電力料金の再値上げや新興国経済の成長鈍化、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格

競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、次期の業績につきましては、売上高は1,700億円、経常利益は115億円、親会社株主に帰属する当期純利益は75億円を見込んでおります。

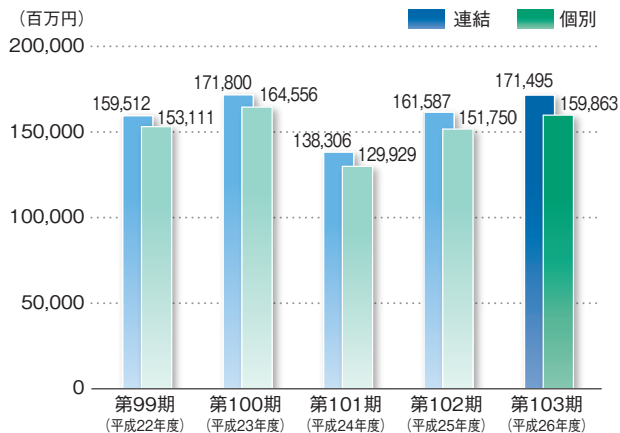
また、次期の配当につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、期間業績に応じた配当を実施してまいります。現時点では具体的な金額は未定とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

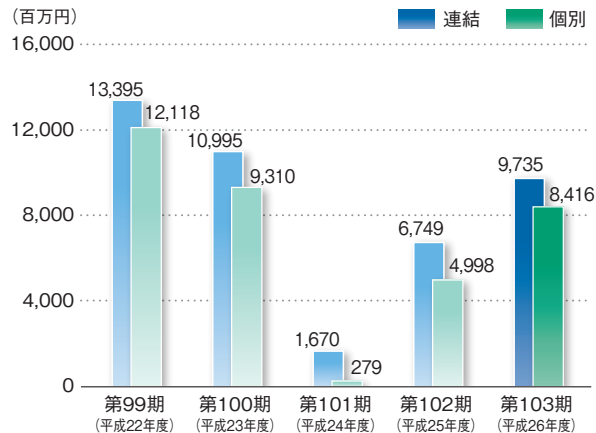
平成27年6月

業績ハイライト

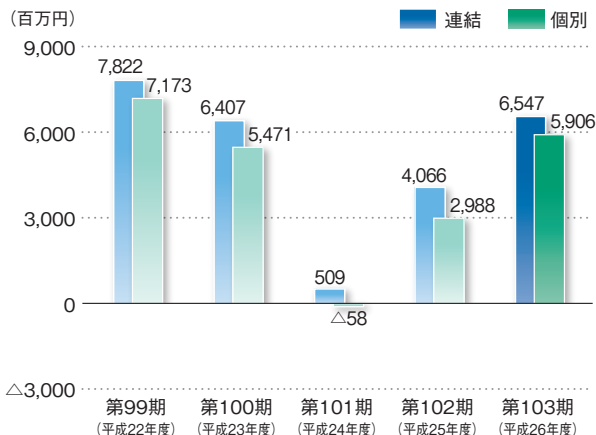
売上高



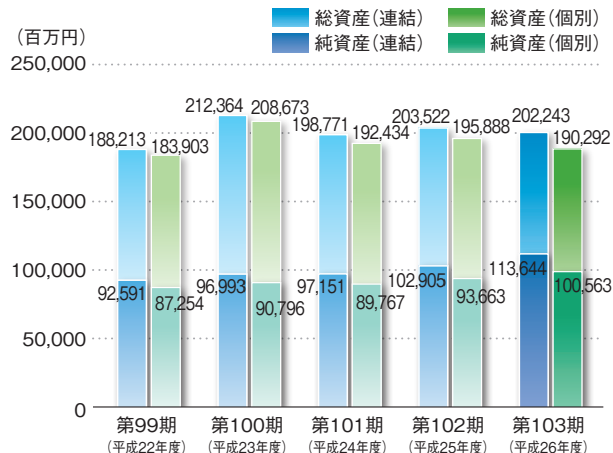
経常利益



純利益



総資産・純資産

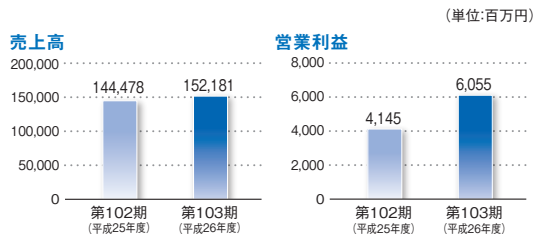


セグメント情報

鋼材事業

当期の販売数量が前期に比べ増加したことなどにより、売上高は前期比77億2百万円増の1,521億81百万円となりました。営業利益は、原燃料価格の上昇はありましたものの、販売数量の増加やコストダウンの実施などにより、前期比19億9百万円増の60億55百万円となりました。

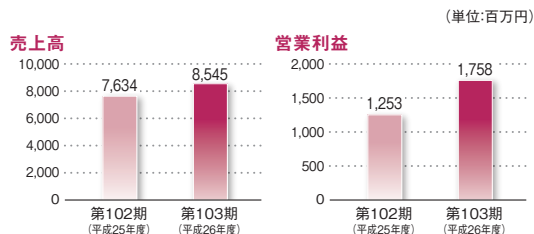
売上高 **1,521億81百万円** 営業利益 **60億55百万円**



特殊材事業

当期は金属粉末製品の販売数量が前期に比べ増加したことなどにより、売上高は前期比9億11百万円増の85億45百万円、営業利益は前期比5億4百万円増の17億58百万円となりました。

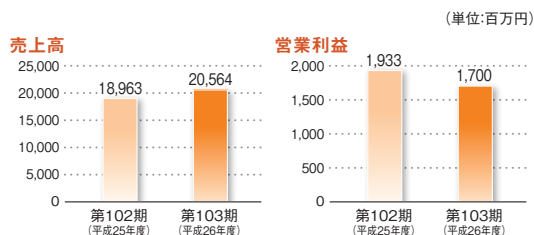
売上高 **85億45百万円** 営業利益 **17億58百万円**



素形材事業

当期の販売数量が前期に比べ増加したことなどにより、売上高は前期比16億円増の205億64百万円、営業利益は中国の素形材製造子会社の利益減などにより、前期比2億33百万円減の17億円となりました。

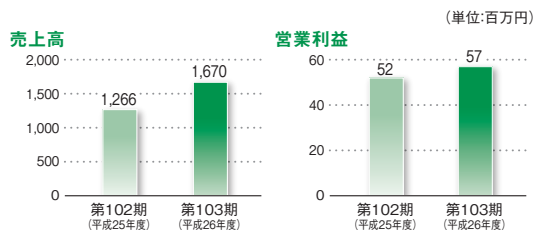
売上高 **205億64百万円** 営業利益 **17億円**



その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当期の売上高は前期比4億3百万円増の16億70百万円、営業利益は前期比5百万円増の57百万円となりました。

売上高 **16億70百万円** 営業利益 **57百万円**



※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度末 (平成27年3月31日)
(資産の部)	
流動資産	121,286
固定資産	80,956
資産合計	202,243
(負債の部)	
流動負債	66,274
固定負債	22,324
負債合計	88,598
(純資産の部)	
株主資本	105,137
その他の包括利益累計額	7,659
少数株主持分	846
純資産合計	113,644
負債純資産合計	202,243

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高	171,495
売上原価	148,951
売上総利益	22,543
販売費及び一般管理費	13,373
営業利益	9,169
営業外収益	1,565
営業外費用	1,000
経常利益	9,735
特別利益	907
特別損失	394
税金等調整前当期純利益	10,247
法人税等合計	3,625
少数株主損益調整前当期純利益	6,622
少数株主利益	74
当期純利益	6,547

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	6,622
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,470
為替換算調整勘定	691
退職給付に係る調整額	2,110
持分法適用会社に対する持分相当額	316
その他の包括利益合計	4,589
包括利益	11,211

(内訳)

親会社株主に係る包括利益	11,071
少数株主に係る包括利益	140

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	349
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 2,252
現金及び現金同等物の期首残高	21,579
現金及び現金同等物の期末残高	19,326

TOPIC 1

「100チャージ連々鑄」の世界記録を達成

当社は、平成27年2月16日に“単一タンディッシュ・浸漬ノズル交換なし”としては世界記録となる「100チャージ連々鑄」を達成しました。



連続鑄造設備

「連々鑄」とは、溶解した鋼を連続的に鑄込んで凝固させていく工程です。当社は、平成9年に73チャージ連々鑄の世界記録を達成しておりますが、この記録を18年ぶりに大幅に更新しました。

この記録は、極めて清浄度の高い鋼を造り込む独自の製鋼技術と優れた操業技術に加え、生産計画・設備保全・品質保証等の社内の幅広い連携に



100チャージ連々鑄達成後、連続鑄造設備前で撮影

よりはじめて成し得るものです。

これからも、当社は更なる品質と技術の向上を図り、高品質の特殊鋼製品を安定的に供給してまいります。

TOPIC 2

「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞



当社は、平成27年3月18日に平成26年度「ダイバーシティ経営企業100選」（経済産業大臣表彰）を受賞しました。

このたびの受賞は、当社が“全ての従業員が働きやすい職場づくり”を目指して進めてきた取り組みが評価されたもので、鉄鋼メーカーとしては初めてとなります。

当社は、今後も全ての従業員が能力を発揮できる職場づくりに向けた取り組みを進めてまいります。

TOPIC 3

日本鉄鋼協会から栄誉ある賞を受賞

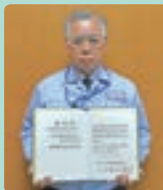
当社の取締役2名が、平成27年3月18日に、(一社)日本鉄鋼協会から栄誉ある賞を受賞しました。両氏の受賞は、当社が特殊鋼の学術・技術とわが国鉄鋼業の進歩発達に貢献してきたことを象徴するものです。当社は、これからも、特殊鋼製造技術の強化を通じて、「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大と成長を目指してまいります。

技術功績賞(渡辺三郎賞)

【取締役副社長 田中 延幸】

技術功績賞(渡辺三郎賞)は、特殊鋼に関する学術上、技術上の進歩発達に顕著な貢献をした会員に対して贈られる賞です。

田中延幸氏は、高品質・高生産性の特殊鋼鋼材および素材材製品の製造技術の進歩と発展に尽力し、特殊鋼製造技術の向上と海外展開に貢献した功績が称えられました。

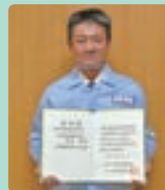


技術貢献賞(渡辺義介記念賞)

【取締役 桑名 隆】

技術貢献賞(渡辺義介記念賞)は、わが国鉄鋼業の進歩発達に多大な功績のあった会員に対して贈られる賞です。

桑名隆氏は、特殊鋼棒鋼および鋼管の製造に従事し、高生産性かつ高信頼性の特殊鋼鋼材製造技術の進歩と発展に貢献した功績が称えられました。

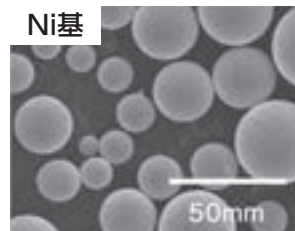
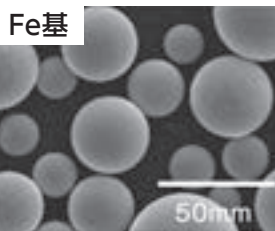


TOPIC 4

真球度を高め流動性に優れた金属粉末を開発

当社は、独自の技術を適用し、真球度が高く流動性に優れた高融点の金属粉末の製造に成功しました。

幅広い合金設計が可能な当社の高真球金属粉末は、3Dプリンターをはじめとする様々な次世代分野での応用が期待されます。



開発した高真球金属粉末の拡大写真

会社概要

平成27年3月31日現在

社 名 山陽特殊製鋼株式会社
 英 文 社 名 Sanyo Special Steel Co., Ltd.
 設 立 昭和10年1月
 資 本 金 20,182百万円
 事 業 内 容 鋼材事業、特殊材事業、素形材事業、その他
 本 社 ・ 工 場 姫路市飾磨区中島3007番地(〒672-8677)
 ☎(079)235-6003 (総務部)
 支社・支店・営業所 東京支社、大阪支店、名古屋支店、広島支店、
 九州営業所
 従 業 員 数 連結2,706名、単体1,341名(就業人員)
 ホームページアドレス <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

役員

平成27年6月26日現在

代表取締役社長	武田安夫	取締役	千葉貴世
取締役副社長	田中延幸	取締役	高橋幸三
常務取締役	富永真市	取締役	桑名隆
常務取締役	柳谷彰彦	取締役	黒石忍
常務取締役	西濱渉	取締役	大前浩三
常務取締役	榮山博之	取締役(社外)	加納駿亮
取締役	大井茂博	常任監査役	木村弘明
取締役	柳本勝	監査役	吉田敏彦
取締役	新野員也	監査役(社外)	大江克明
取締役	永野和彦	監査役(社外)	岩崎正樹

重要な子会社等

平成27年3月31日現在

鋼材事業

連結子会社

- 陽鋼物産株式会社
(特殊鋼製品、製鋼原料、諸資材などの売買)
- サントク精研株式会社
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山特工業株式会社
(特殊鋼の加工、機械設備のメンテナンス)
- 山特テクノス株式会社
(特殊鋼の加工)
- SKJ Metal Industries Co., Ltd.
(特殊鋼製品の加工・販売)
- P.T. SANYO SPECIAL STEEL INDONESIA
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山陽特殊鋼貿易(上海)有限公司
(中国における特殊鋼製品の販売等に関わる業務)
- Sanyo Special Steel India Pvt. Ltd.
(インドにおける特殊鋼製品の販売等に関わる業務)

持分法適用関連会社

- Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.
(特殊鋼製品の製造・販売)

素形材事業

連結子会社

- サントクテック株式会社
(特殊鋼製品の加工)
- SANYO SPECIAL STEEL U.S.A., INC.
(特殊鋼製品などの輸入・販売)
- 寧波山陽特殊鋼製品有限公司
(特殊鋼製品の加工・販売)
- Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.
(素形材製品の製造・販売)

持分法適用関連会社

- Advanced Green Components, LLC
(特殊鋼製品の加工)

その他

連結子会社

- サントクコンピュータサービス株式会社
(情報システム構築・運用・コンサルティング)
- サントク保障サービス株式会社
(警備業、施設管理等のサービス業務)

株式の状況

平成27年3月31日現在

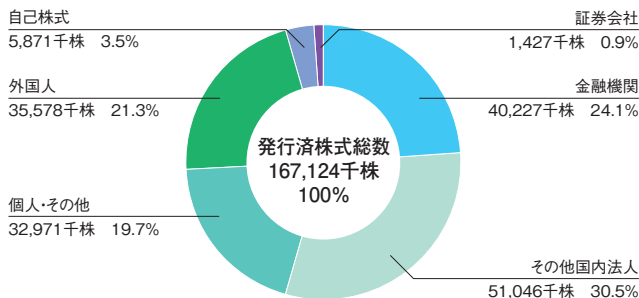
発行可能株式総数	474,392,000株
発行済株式総数	167,124,036株
株主数	14,338名

大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
新日鐵住金株式会社	24,256	15.13
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	10,510	6.56
山陽特殊製鋼共栄会	10,153	6.33
日本精工株式会社	7,470	4.66
株式会社三井住友銀行	5,696	3.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,503	3.43
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE- HCR00	3,764	2.35
株式会社みずほ銀行	3,642	2.27
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,108	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,871	1.79

(注) 当社は、自己株式5,871千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式の所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月下旬

同基準日 3月31日

配当の基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

公告方法 電子公告
【アドレス】 <http://www.sanyo-steel.co.jp/>
事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒540-8639
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

お問合せ先 【フリーダイヤル】0120-782-031

上場証券取引所 東京(証券コード 5481)

単元未満株式の買増・買取請求制度のご案内

当社には、1,000株未満の株式(単元未満株式)の買増・買取請求制度がございます。

詳細は、上記お問合せ先までお尋ねください。



**SANYO
SPECIAL
STEEL**